HP等に寄せられたご意見・ご質問と札幌市の回答

（3名の方から6件のご意見・ご質問をお寄せいただきました。）

NO	質問・意見の概要	回答
1	義務教育学校の設置には賛成だが、学校新設にあたり既存の樹木を伐採すると聞いている。 その樹木の中にはマツなどの常緑樹があり、冬季間餌場としている小動物がいる。 ついては、できるだけ樹木を残してほしい。	樹木の伐採範囲は、サイクリングロード全体ではなく、新たに学校敷地とする予定の区域内の樹木を対象としています。 対象となる区域内においても、給食用車両の通路等を確保するために必要な区域の樹木は伐採しますが、可能な範囲で樹木を残します。
2	校舎に使用する建材、塗料等について化学物質が極力少ないものを選び、換気対策を充分に行うなど、子どもの健康に影響が出ないよう配慮して欲しい。	学校の工事を行う際は、揮発性有機化合物対策を定め、揮発性有機化合物の拡散（発散）が少ない材料の使用に努めるほか、施工時、引き渡し時の換気も繰り返し行います。 引き渡し前には、測定を実施して、基準内であることを確認した上で引き渡しを受けます。 上記の内容を徹底し、児童の健康に影響が出ないよう最大限配慮いたします。
3	工事中に少しでもグラウンドを長く使えるよう配慮してほしい。	グラウンド整備時期につきましては、中学校の解体工事が令和11年4月頃から令和12年3月頃までかかる予定となっておりますので、令和12年4月頃からグラウンド整備を行う工程が現状最も早いスケジュールとなります。 なお、令和11年の中学校解体工事期間中は中学校のグラウンドを解体工事の現場事務所や駐車場として使用する可能性が高いですが、工事で使用しない部分につきましては、少しでも長くグラウンドとして使用できるよう検討いたします。
4	校舎玄関からグラウンドまでの距離が遠く、中休みや昼休みに気軽にグラウンドに遊びに行けるか心配。	玄関の位置につきましては、新校舎・既存校舎のどちらにもアクセスもしやすい位置として、本案の位置としております。 また、校舎のある敷地には、メイングラウンドとは別に低学年用グラウンド及び遊具を整備、校舎にはグラウンド昇降口を設けることで、中休みや昼休みに利用しやすくします。
5	在校児童の保護者に詳しい資料を配布し周知して欲しい。	在校児童生徒を通じ、各世帯へ、学校新築計画やスケジュール等がHPに掲載されている旨のお知らせ文を配布し、周知いたします。
6	全国的に校舎とグラウンドの間にサイクリングロードなどの道路がある事例があるか。もしあれば、どのような対応をしているか。 サイクリングロードを含め、安心安全に配慮した学校としてほしい。	他都市においても、校舎とグラウンドの間に道路がある学校は存在しております。安全対策についてヒアリングし、参考にしながら、今後も引き続き検討してまいります